

## 新たな情報通信技術戦略の策定に関する意見

1. 個人／団体の別：個人
2. 氏名／団体名：非公開
3. 連絡先：非公開
4. ご意見：

地方の市役所で情報システム管理とブロードバンド拡大を担当しております。

新戦略骨子について2点意見を述べさせていただきます。

まず、真っ先に取り組むべきは、最も近くで国民の日々の暮らしを支える市町村業務について、電子化によるコストや人的負荷の軽減を「抜本的」に図ることであり、抜本的とは、市町村の基本的業務について、骨子にも触れられている「標準化」を推し進め、早期にクラウドサービス化することと考えます。そのためには、国は、これまでのような呼び水やかかけ声だけではなく、標準化からサービス構築までの具体的支援を行うとともに、クラウドサービスの利用を市町村に義務づけるなど、行政コストの無駄の徹底した排除と、安全で安定した行政運営を国全体で行う基本姿勢を示し、これまでほとんど感じられなかった電子行政の恩恵を国民が実感できるよう取り組みすべきです。

2点目は、暮らしに密着した情報をすべての世帯で利用できるというビジョンが文言でうたわれていますが、インターネットは無縁と考える高齢世帯の多い地方などは、これを具体的にイメージすることはできません。そこでたとえば、地デジで普及したデジタルテレビをインターネット端末として利用し、高齢者も使い慣れたテレビで、茶の間から地域の情報に自在にアクセスできる、地域がテレビに向けて自在に発信できるといった、電子化された社会を誰もが絶えず身近に感じられる環境づくりを「光の道」と同時に実現させるべきと考えます。

以上